



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

4月号

令和2年4月8日

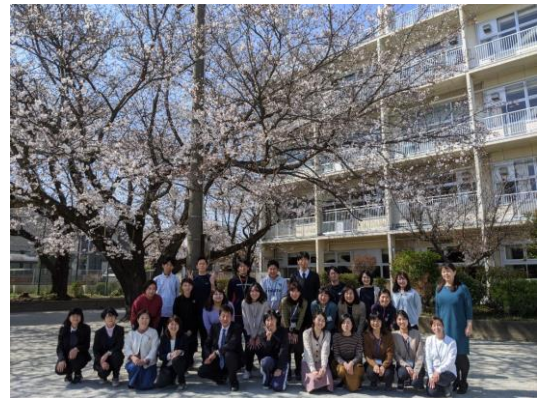
さいたま市立与野本町小学校

令和2年度のスタートに寄せて

校長 森 裕子

やわらかな日差しの中で桜吹雪が舞う、うつくしく穏やかなこの季節は、新年度のスタートでもあり、だれもがうれしさや希望を抱きます。本校でも92名の新入生を迎えます。新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学誠にありがとうございます。そして新2年生から6年生の428名のみなさん、進級おめでとうございます。児童総数が520名となって新しい先生や職員（本校の給食室がオープンし、7名の調理員さんが着任しました!）の方々も迎え、与野本町小学校の令和2年度が出発です。

しかし、状況は依然として感染拡大の脅威にさらされ、当然のことながら防止策に社会全体で取り組まねばならず、通常の学校生活や教育活動が行えない状態です。今、7日の正午くらいですが、ここを少し書き直さざるを得ない状況になりました。明日（8日）の始業式、入学式は行わない、ということになりました。当初、短時間でいろいろ制約もありますが、子どもたちが新しいクラス、ともだち、先生との出会いに驚き、喜び合う中で、「進級、入学おめでとう。これからもがんばっていきましょう。みんなで楽しい学校生活を送りましょう。」とまず声をかけようと思っていました。その後は3つに分かれての分散登校になるけれど、明日だけは新年度のスタートの日、学年ごとではありますが、束の間全員そろって迎える大事な節目となる日です。教職員も、様々な工夫をしたり感染予防の対策をかなり綿密におこなったりしながら一丸となって準備を進めてきました。



3月末桜の下、職員集合！離任式も延期です。

ところが、またもや突然に式が取りやめになってしまいました。現在の感染状況から言えば当然のことで、子どもたちの命を守ることが最優先であることは百も承知です。ですが、なぜこんなに直前の変更なのか、今、自分を納得させるのに苦労しています。見えない敵と闘い、一日も早く元の生活に戻すことは、一人ひとりの意識と行動に係っています。感染拡大を食い止め、終息を図るため、ましてや、命が奪われるようなことは決してないようにするため、もやもやした暗い気持ちを払拭し、みんなで励まし合って力強く乗り切るしかありません。明日は、子どもたちの笑顔の前にして改めて自分を叱咤激励するつもりです。

現在の状況から考えると、社会全体においてオリンピックを初め様々なイベント等が延期もしくは中止となっています。学校にも「〇〇はどうなりますか。」という電話がかかってくるのですが、当面はほとんどのことが「予定通りの実施は不可」と思っておいていただければと思います。PTAの活動についても同様で、PTA会費の集金や総会などはもちろん、ほとんどの活動が当面実施できないと会長から承っておりますので、この場でお知らせします。「延期」や「中止」の連絡、あるいは「予定通り」も含めて必要な情報はできるだけしっかり発信していきたいと考えております。知らせがないことが「予定通り」ではありませんのでご承知おきください。また、知らせがなかなか来ない場合も・・・事情をお汲み取りいただければ幸いです。ある学校では地域の方に入学式のご案内を例年通り出したそうです。「まだ中止と決まったわけではないから、とりあえず出して置いて、後から変更すればいい」という判断だったそうです。確かに市からはなかなか連絡が来ませんでした。それで本校では、ぎりぎりまで待って、今年度は来賓のご出席についてご遠慮いただくことにしました。遅めのお知らせになってしまいご迷惑をおかけしましたが、地域の方々からはご理解をいただきました。こういう非常事態にあって相手の立場や状況を押し量り、多少不都合が生じても広く受け止めてくださることを本当にうれしく、ありがたく思います。

学校や市からの通信手段はメールが主になり、長かったりたくさん届いたりして煩雑になりますが、引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。また、入学前に新入生の全ご家庭にご登録いただきましたことが大変すばらしく感謝に堪えません。一日も早くいいお知らせを配信できることを願います。最後になりますが、皆様もどうぞお体ご自愛ください。